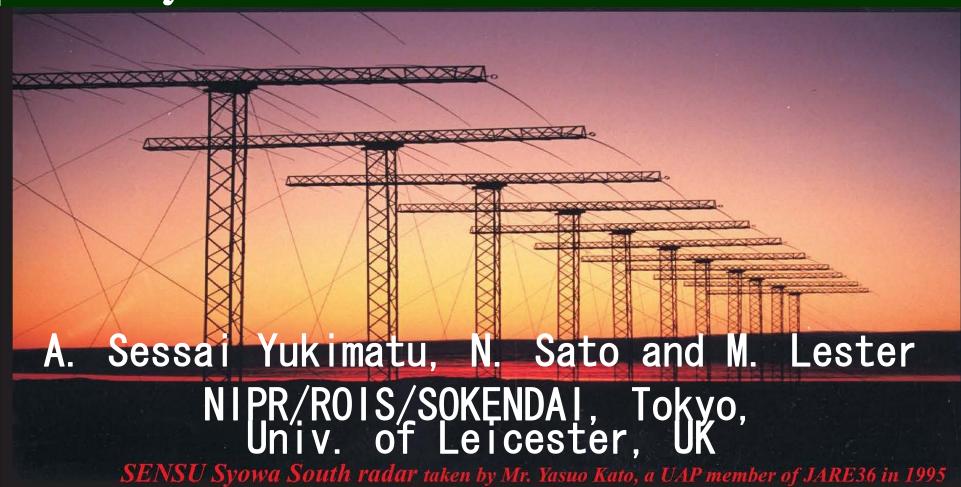
H19(2007)年度名古屋大学太陽地球環境研究所研究集会「中緯度短波レーダー研究会」 名古屋大学東山キャンパス環境総合館3F講義室2(愛知県名古屋市千種区不老町) 2008.01.28

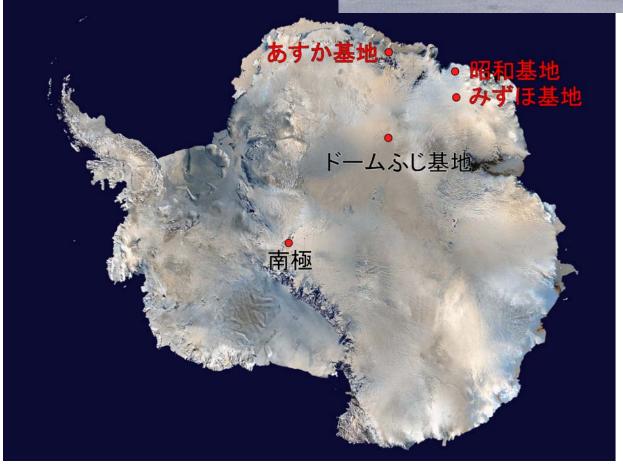
昭和基地 SENSUレーターの現状 Syowa SENSU radars status





●極地での観測隊による保守運用 ·遠隔:人員·物資 1年に1度しか人員・物資(保守品)送れない 毎年専門家派遣は困難 隊全体で1Mbpsの衛星回線のみ (dat/fit/tmsは準real timeで国内伝送) ・短い夏/長い冬、限られた人的資源 大きな外作業は12月下旬~2月のみ可 アンテナ保守も9~3月頃のみ適 隊員支援はあるが、上限有 小屋やアンテナ建設等は隊員が実施 (但し電気通信機械屋等専門家在)





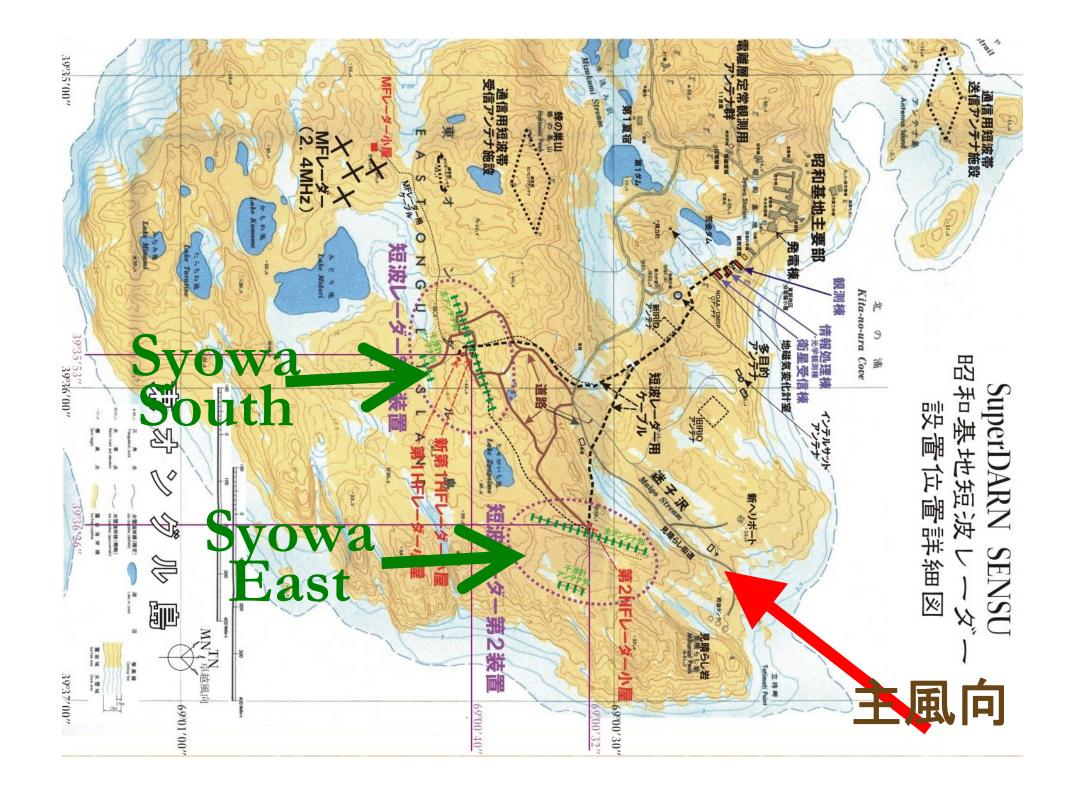


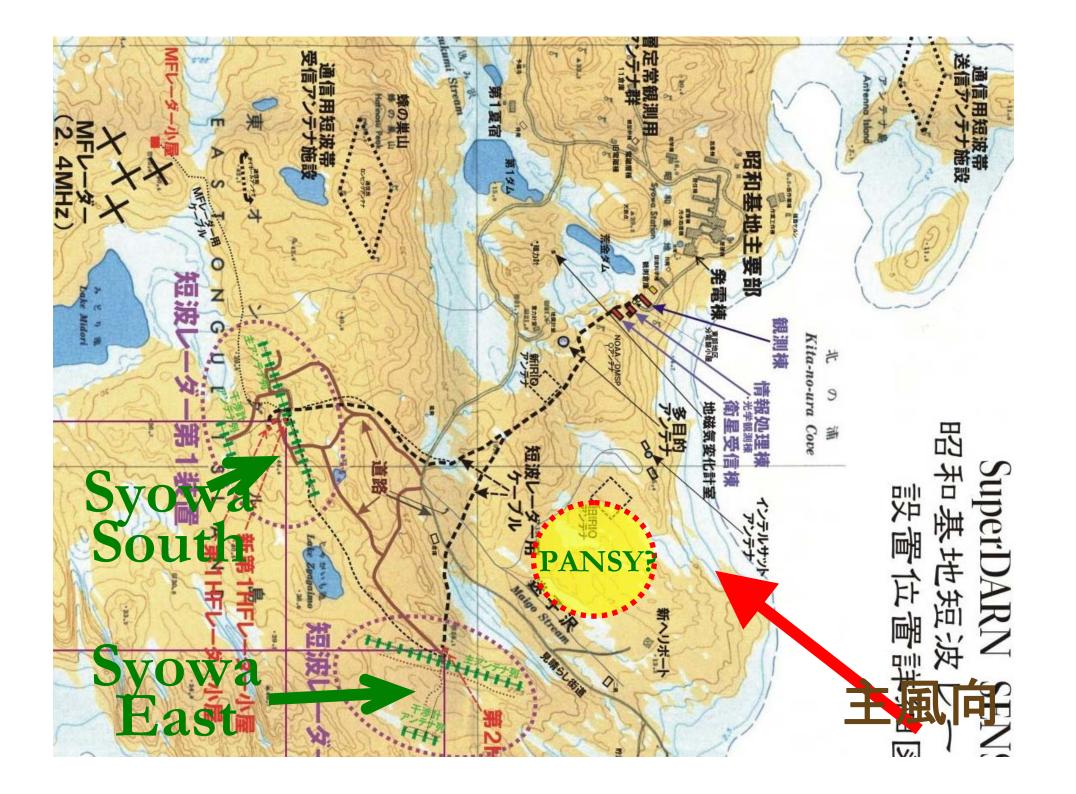


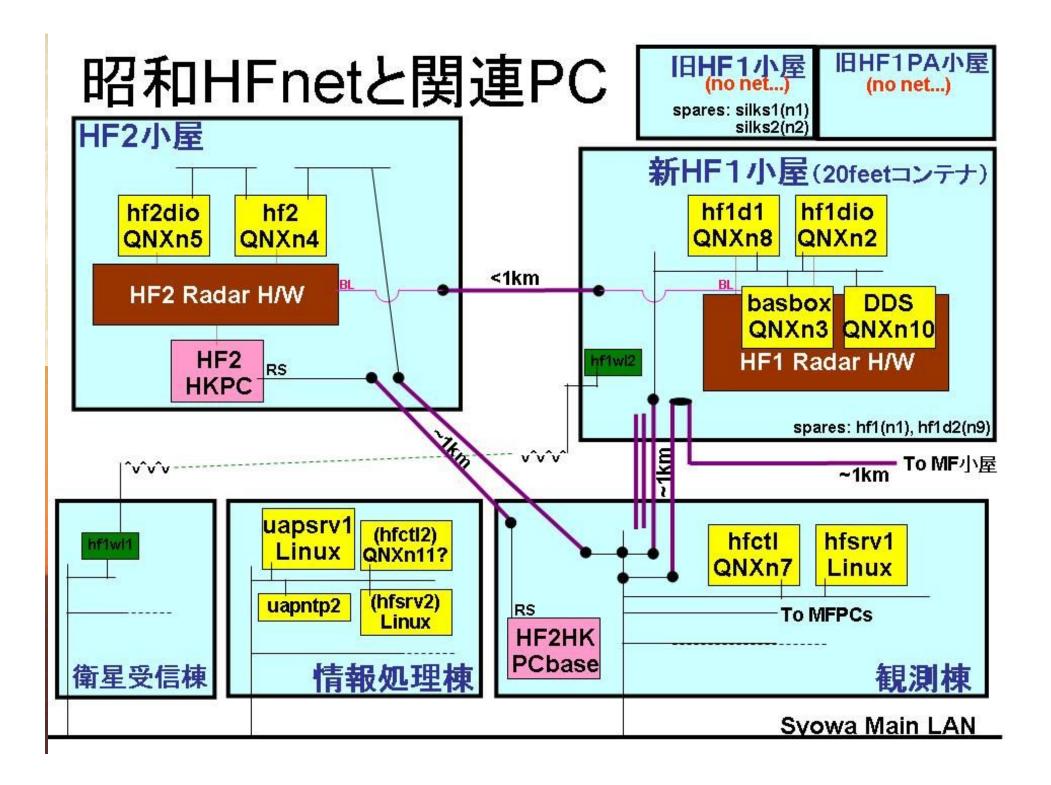


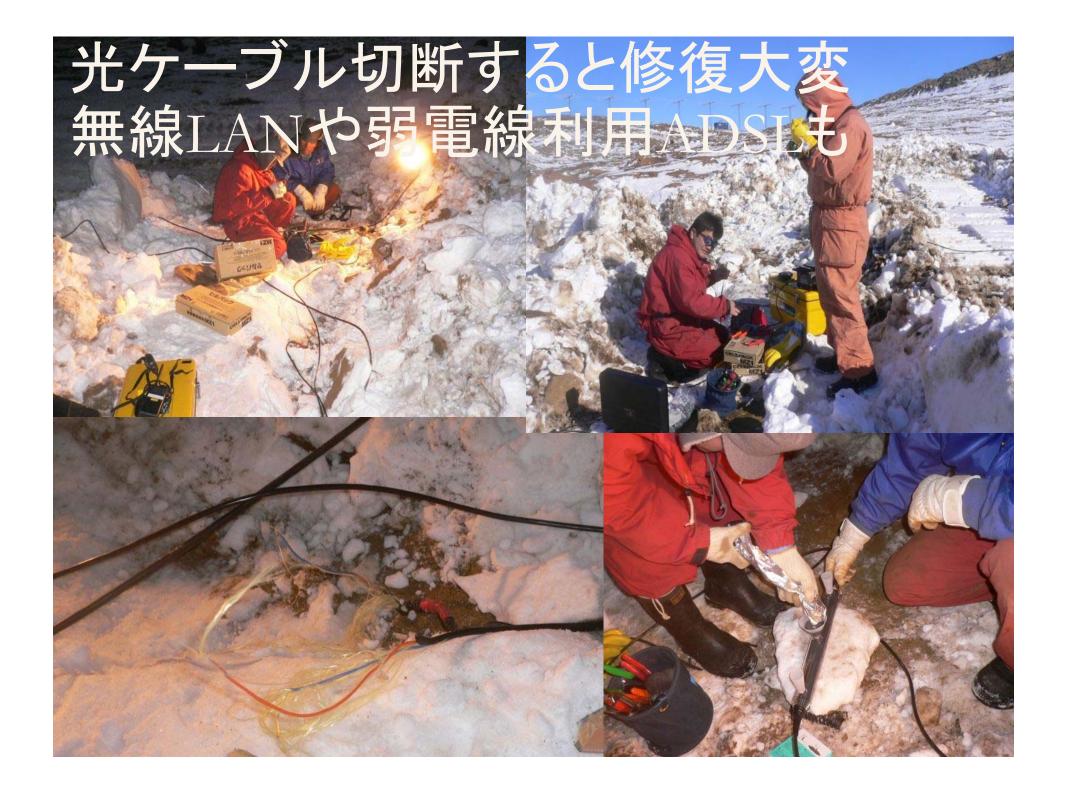
● 2 基運用 基地主要部から約1kmの2サイト 2基間も1km弱の距離 電力線/光netで基地主要部と接続 (backup回線の確保重要) 2基運用の為のRadopsの改修 (同一QNXnet上で2 Radops走る) 2基間の電波干渉の抑制(freq/blanking)











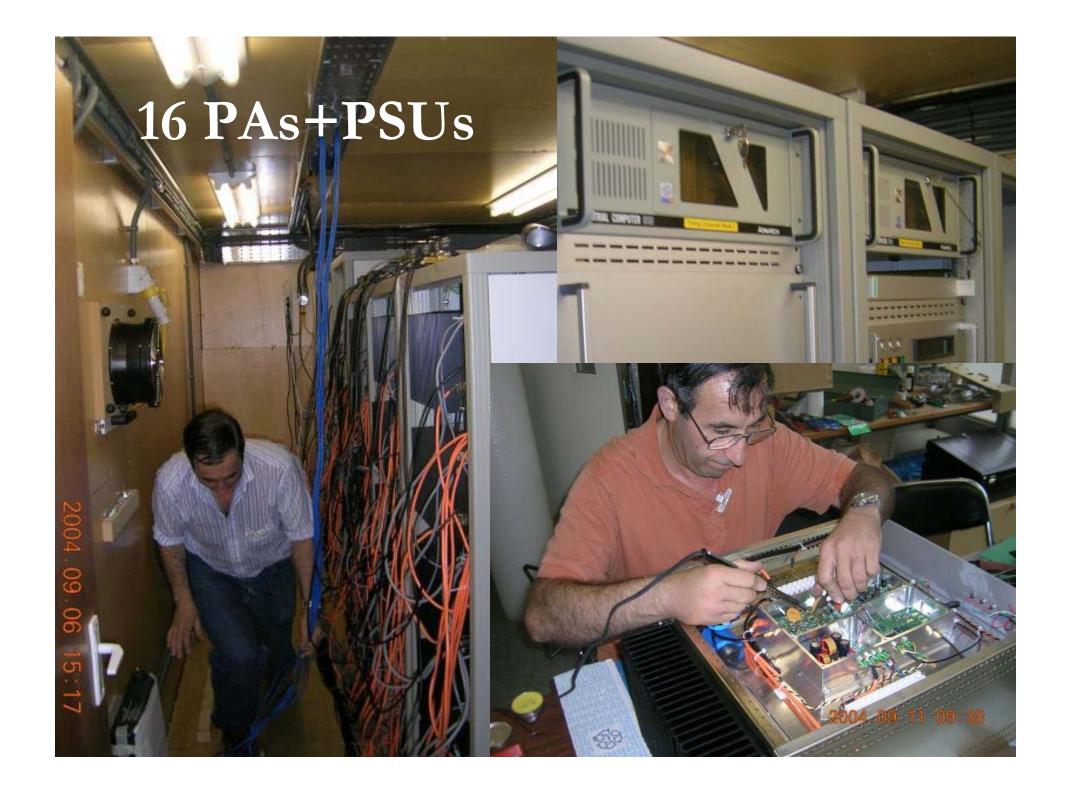
- ●観測機器内部の諸問題(Ant以外)
 - ・Syowa Southは当初からSN比悪目、 1995に送受信機Stereo型に更新。 尚感度向上の努力中(Antも関連か)
 - · Syowa Eastは比較的安定動作
 - · AnalogueRx内部の問題多かった。 (Rxの問題はPA/Antに比べ影響大)
 - · Syowa EastはPAやPSUの故障時々発生し、その都度現地での原因切分け、部品交換or持帰り修理。
 - ·NetworkやPCの問題も時々発生
 - ・Antennaを含めた電気特性のcheck を毎年行う事:重要
 - ·干涉計data信賴性:現地詳細調查重要

- · Syowa Southは当初から感度悪く、、 1995に送受信機Stereo型に更新。 尚感度向上の努力中(Antも関連か)
 - · Tx/Rx Sw PIN diodes 直列X
 - · PAやRx内維音がSN比悪化? (down中PA/AntあればSN比↓) (sky noise値は恒星日変化すべき?)
 - · IQ DC offset⇒SN比悪化 ⇒ソフト自動除去codeを開発
 - · Stereo radarにすると各ch 3dB down(今6dB)
 - ・Ant-PA間距離~100mで往復で2~3dBdown
 - ・送受信機やcables等中でのloss?
 - ・アンテナ不具合ある可能性??
 - ·昭和内外来雜音干涉?、TxFreq設定、Filter
- ·NetworkやPCの問題も時々発生

QNX network/filesystemの信頼性

- ・電源系の問題はあらゆるトラブルの元 ・Ant Patternの航空機による観測



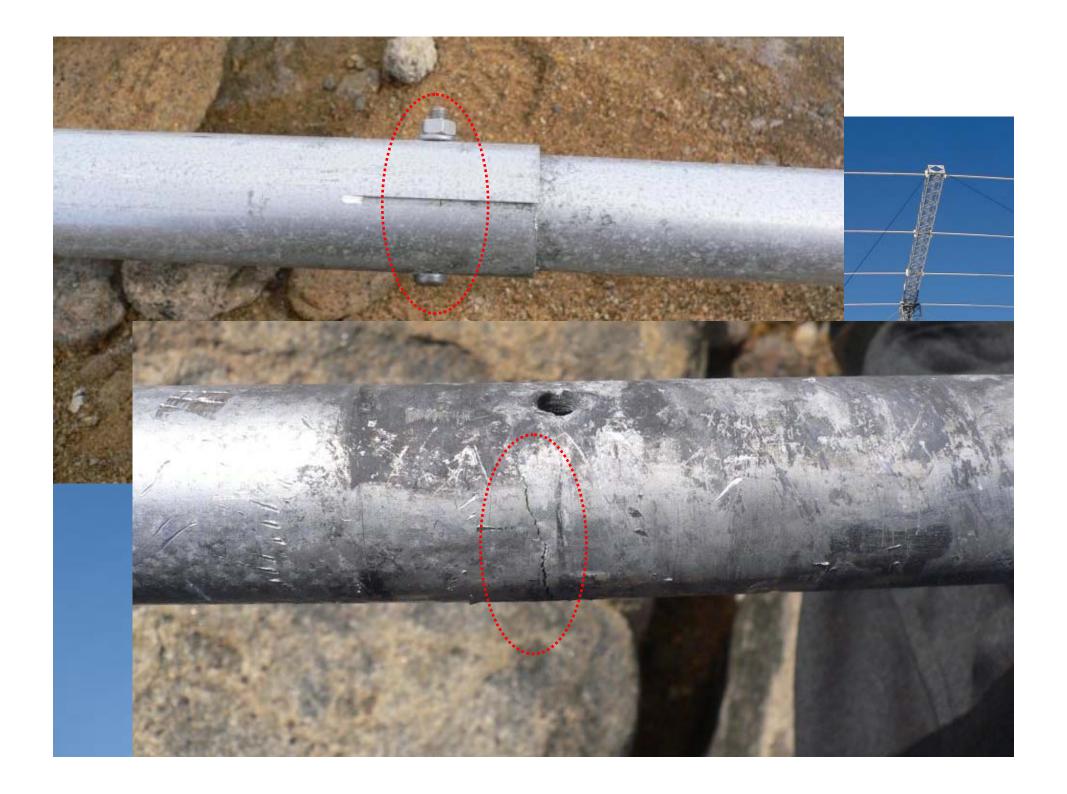


●観測機器内部の諸問題 強風(≦60m/s)によるアンテナ損傷 アンテナ保守に苦労 1995~1997頃当初はアンテナ倒壊多発 アンテナ全入替え、振留線導入 エレメントが毎年数箇所折損保守 改良型の製作と現地試験の繰返し 最近サドル部の損傷多数見つかり対応 Phase Line Spacerの挿入(現在)で 現地で試用 国内試験困難 (同じ環境得難い)

昭和風速記錄例 Syowa Wind Vel example 50.0 Average 45.0 45.0 40.0 40.0 35.0 35.0 Speed(m/s) 30.0 30.0 25.0 25.0 Wind 20.0 20.0 15.0 15.0 10.0 10.0 5.0 5.0 0.0 0.0 (Z) (Z) (Z) (Z) (Z) <u>ල</u> <u>ල</u> ${\scriptstyle {\color{red} \Sigma}}$ (Z) \square \square \square ..00 <u>..</u> .. 88 $\frac{2}{2}$ Ø \odot \odot \odot Ø. \odot 00ம 86/22 798

HF Ant Element損傷

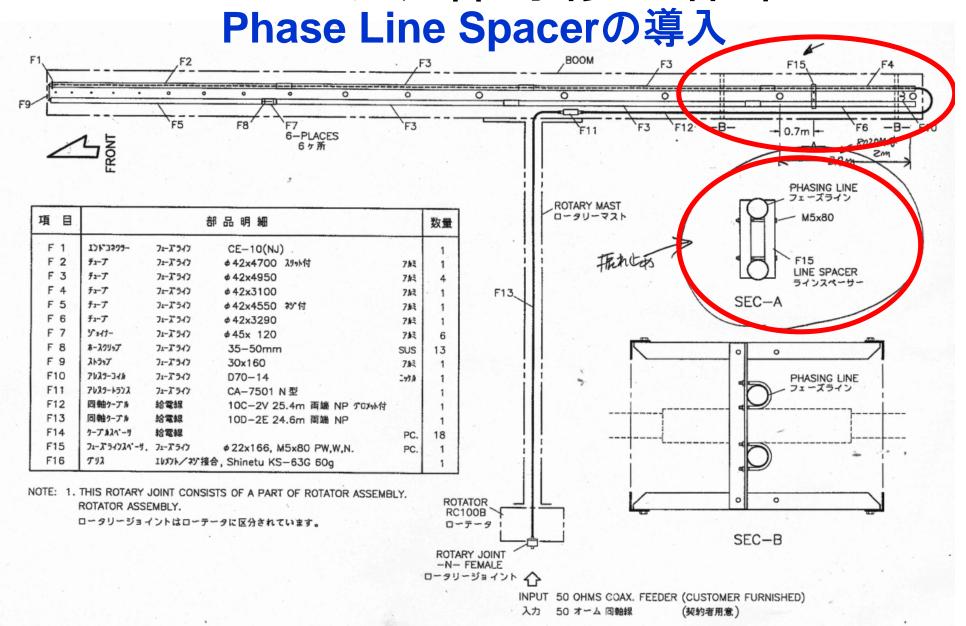




Ant Phase Line/Saddle損傷

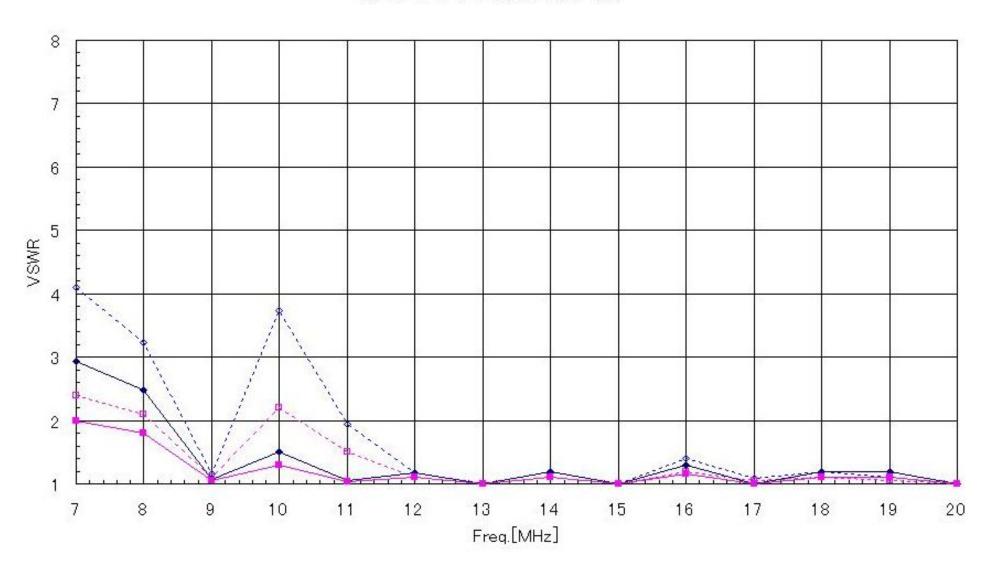


HFアンテナ保守修理作業

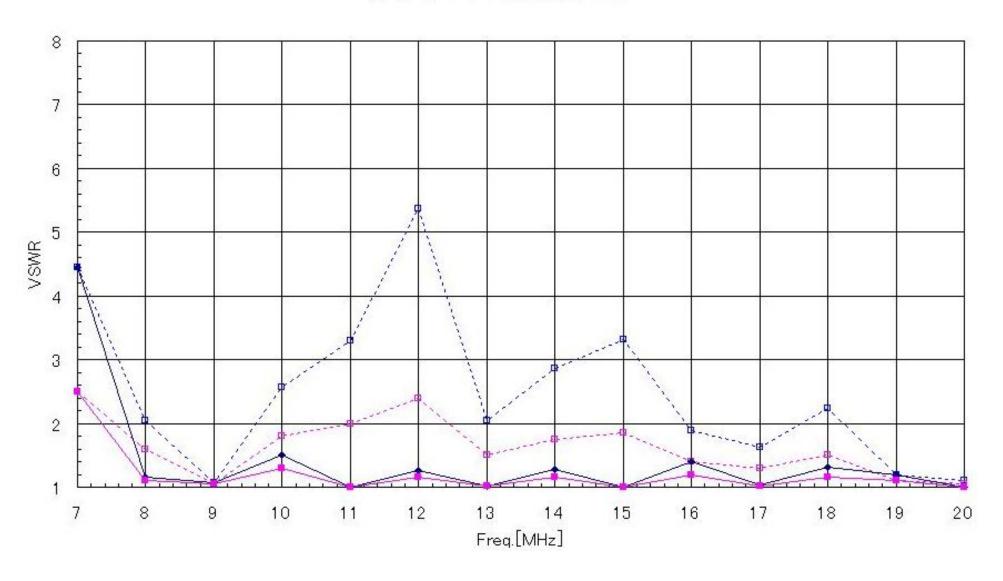




アンテナ電気特性(VSWR)の確認



アンテナ電気特性(VSWR)の確認



●最近の動向

·TMS·流星風観測開始(2001~)

· Syowa SouthのStereo Radar化(2005~)

· Syowa Eastの干渉計観測開始(2005~)

· digital Rxへの移行 (2008?~):安価柔軟性

●pulse送信timingの精密制御の検討(fP)

imaging radar化の検討(w/ Leicester) 含: Tx beamのbroadeningの検討

(digital Tx/PhMx new design)

その他

派遣隊員の国内訓練@電通大管平&陸別??昭和保守体制・停電対策の強化 夏期集中保守の試み

Digital Rx boardの応用



Digital Rx/Imaging radar system design

